

NOMURA

野村證券

美しい時代へ——東急グループ

セルリアンタワー能楽堂

# 萬齋

インセルリアンタワー 26

2026年12月11日(金)

午後7時開演(6時30分開場)

解説

狂言 成上り

狂言 悪太郎

野村 萬齋

飯田 豪

野村 萬齋

CERULEAN TOWER

能楽堂

NOH THEATRE

撮影:政川慎治



## ◎解説

## ◎狂言「成上り」

太郎冠者 飯田 豪  
主 内藤 連  
すっぱ 野村 太郎  
後見 岡 聡史

鞍馬寺に参籠する主人の供をした太郎冠者は、主人の太刀を預かったままうとうとと眠ってしまう。そこへすっぱ(泥棒)が現れ、太刀を青竹にすりかえ逃げてしまう。翌朝目を覚まして仰天した太郎冠者は、「成上り」の話をしてごまかそうとするが、結局主人に叱られる。参詣人の中に犯人を見つけた二人は、太刀を取り返そうととびかかるが…。

「成上り」とは、低い地位からの立身出世を意味する、中世下剋上の代名詞的な言葉ですが、どこかとほけた太郎冠者の挙げる例は奇想天外なものばかり。太郎冠者と主人による大捕り物にもご注目下さい。

— 休憩15分 —

## ◎狂言「悪太郎」

悪太郎 野村 萬齋  
伯父 石田 幸雄  
僧 野村 裕基  
後見 高野 和憲

乱暴者の悪太郎は、自分の酒癖の悪さに意見する伯父を逆に脅してやろうと、長刀を携えて訪ねるが、伯父の家でも酒を飲んで酩酊し、帰る道すがら眠り込んでしまう。心配して後をついてきた伯父は、道端に寝ている悪太郎を見つけて僧形にし、夢うつつの中で「南無阿弥陀仏」と名を授けて去る。さて、目を覚ました悪太郎は、念仏を唱える僧の声を耳にし…。

前半は悪太郎の酔態、伯父との掛け合いなど狂言らしい笑いの場面が続きますが、悪太郎が酔いから醒める後半一転、悟りの境地へとダイナミックに展開します。中世の人々の運命観が垣間見える名作です。

〈終演予定 午後8時45分頃〉

## ■野村 萬齋 (のむら まんさい)

1966年生。野村万作の長男。祖父故6世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国の内外での狂言公演に参加する一方、映画、ドラマに出演するなど幅広く活躍。現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、紀伊國屋演劇賞、朝日舞台芸術賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞優秀作品賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能賞大賞、2024年5月坪内逍遙大賞を受賞。東京芸術大学・日本大学芸術学部客員教授。石川県立音楽堂芸術監督。全国公立文化施設協会会長。

## ■野村 裕基 (いのむら ゆうき)

1999年生。野村萬齋の長男。祖父・野村万作及び父に師事。慶応義塾大学法学部卒業。能楽協会会員。3歳の時に『鞍猿』で初舞台後、子方として国内外で多数の舞台に出演。修業を続け、『三番叟』『奈須与市語』『釣狐』を披く。世田谷パブリックシアター「ハムレット」、能狂言「鬼滅の刃」で重要な役を演じ、活動の場を広げている。朝日カルチャーセンターや全国各地の狂言ワークショップで講師を勤め、狂言の普及にも力を注いでいる。

## ■石田 幸雄 (いしだ ゆきお)

1949年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。『三番叟』『釣狐』『花子』も披演。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ「万作の会」の重鎮。また、新しい試みの舞台にも意欲的な発表が多い。普及公演での的確な解説にも定評がある。「雙ノ会」で芸術祭大賞を、個人で観世寿夫記念法政大学能楽賞を受賞。

## ■高野 和憲 (たかの かずのり)

1972年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修修了。重要無形文化財総合指定保持者。万作一門の若手研鑽会「狂言ざん座」同人。すでに『奈須与市語』『三番叟』『釣狐』『花子』等を披き、「万作の会」の演者の一人として国内外の狂言・能公演に出演。朝日カルチャーセンター、新国立劇場演劇研修所をはじめ、全国各地の狂言講座、ワークショップで講師を勤め、狂言の普及に力を注いでいる。

## ■野村 太郎 (のむら たいちろう)

1990年生。故五世野村万之丞の長男。2017年より野村萬齋に師事。能楽協会会員。3歳の時に『鞍猿』で初舞台。既に『三番叟』『奈須与市語』『釣狐』を披く。能楽ユニット「MUGEN∞能」同人。2020年新作能『白雪姫』を演出、主演。青山学院大学、桜美林大学非常勤講師。

## ■岡 聡史 (おか さとし)

1980年生。野村万作に師事。能楽協会会員。文化学院卒業後、狂言の道を志し修業を続け、『奈須与市語』『三番叟』を披く。全国各地での狂言ワークショップで講師を勤め、狂言の普及に力を注いでいる。

## ■内藤 連 (ないとう れん)

1986年生。野村万作に師事。成城大学卒業。国立能楽堂・能楽三役第八期研修修了。能楽協会会員。『奈須与市語』『三番叟』『釣狐』を披く。全国各地の狂言ワークショップで講師を勤めるほか、松尾塾伝統芸能を指導している。

## ■飯田 豪 (いいた こう)

1989年生。野村万作に師事。日本大学芸術学部卒業。能楽協会会員。大学在学中より狂言を学び始め、すでに『奈須与市語』『三番叟』を披く。朝日カルチャーセンターをはじめ、全国各地の狂言ワークショップで講師を勤めるほか、お茶の水女子大学・東京女子大学・共立女子大学の狂言サークルを指導し、狂言の普及に力を注いでいる。

2026年  
12月11日(金)

午後7時00分開演  
(6時30分開場)

## ◎チケット申し込み

▶ Bunkamura チケットセンター (10:00-15:00)

03-3477-9912 (9/11発売日初日特別電話)  
03-3477-9999 (9/12以降残席がある場合のみ取扱い)  
<https://my.bunkamura.co.jp/>

▶ オンラインチケット MY Bunkamura

▶ 東急シアターオーブ / Bunkamura チケットカウンター

渋谷ヒカリエ2F (11:00-18:00)

※営業時間に変更になる可能性がございます。最新情報は能楽堂HPをご確認ください。

※都合により公演の一部(出演者・曲目等)を変更する場合がございます。

※公演中止、または主催者がやむを得ないと判断する場合以外のチケットの払戻しはいたしません。

協賛：NOMURA 野村證券

## ◎前売開始

MY Bunkamura 先行販売：2026年9月10日(木) 午前10時00分より  
一般販売：2026年9月11日(金) 午前10時00分より

※Bunkamuraでの一般発売日(9/11(金))は、Bunkamuraチケットセンター初日特別電話および  
オンラインチケットMY Bunkamura(PC・スマートフォン)での受付となります。  
チケットカウンター(店頭)販売はございません。

◎料金：S席(正面)12,000円 A席(脇正面)10,000円  
(税込) B席(中正面)8,000円 学生席(座敷・自由)4,000円

※学生席は能楽堂のみにて取り扱います。購入の際に学生証の提示をお願いいたします。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

「渋谷駅」国道246号線沿いにそびえる超高層ビル  
「セルリアンタワー」の地下2階。

